

山口県感染症発生週報

(第36週:2021年9月6日～9月12日)

1 全数把握感染症

【2類感染症】

・結核:2例(柳井)

【3類感染症】

・腸管出血性大腸菌感染症:1例(周南)

【5類感染症】

・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症:1例(防府)

・急性脳炎:1例(宇部)

【新型コロナウイルス等感染症】

・新型コロナウイルス感染症:158例(下関41例、岩国14例、柳井16例、周南27例、防府9例、山口24例、宇部25例、長門1例、萩1例)

「デルタ株感染拡大防止集中対策」の取組みにより、感染状況に改善の兆しが見られますが、往來の多い隣県の福岡や広島等の緊急事態宣言が継続していることなどから、集中対策期間を9月26日まで延長します。引き続き、県外との往來自粛、外出機会の半減、会食は少人数・短時間で、普段一緒にいる人以外とは自粛するなど感染症予防対策の徹底をお願いします。

※()内は届出を受けた保健所

**デルタ株感染
拡大防止集中対策**

集中的な取組により、
本県での感染の再拡大を阻止!

◎県外との往來自粛

⇒福岡・広島との往來は最大限自粛を!

◎外出機会の半減

⇒不要不急の買い物や会食は控える!

⇒20時以降の飲食店等の利用は自粛を!

◎感染予防対策の徹底

⇒まめな手洗い・手指消毒等の徹底!

⇒会食は少人数・短時間、
普段一緒にいる人以外との会食・会食は自粛を!

集中対策期間

9/26(日)まで

山口県政策企画課HP (9/11掲載)

2 定点把握感染症(5類感染症)

(1)特記事項

・RSウイルス感染症:岩国、周南、防府で発生が多い状況です。

※警報レベル・注意報レベルの基準値詳細についてはHPをご覧ください。

<http://kanpoken.pref.yamaguchi.lg.jp/jyoho/report2012/keihotyuuuihp>

(2)週別発生状況

疾患名	34週	35週	36週	疾患名	34週	35週	36週
インフルエンザ	0	0	0	ヘルパンギーナ	2	12	17
RSウイルス感染症	124	126	125	流行性耳下腺炎	2	3	5
咽頭結膜熱	5	2	2	急性出血性結膜炎	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	10	7	流行性角結膜炎	1	1	2
感染性胃腸炎	122	116	96	クラミジア肺炎	0	0	0
水痘	5	1	2	細菌性髄膜炎	0	0	0
手足口病	8	24	24	マイコプラズマ肺炎	0	0	0
伝染性紅斑	0	0	0	無菌性髄膜炎	0	0	0
突発性発しん	13	26	29	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0

(3)地域別発生状況

疾患名	下関	岩国	柳井	周南	防府	山口	宇部	長門	萩	全体
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	0	22	0	97	3	1	1	0	1	125
咽頭結膜熱	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	1	0	3	0	0	1	0	0	7
感染性胃腸炎	15	3	5	31	2	9	17	2	12	96
水痘	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
手足口病	3	0	0	1	2	7	2	7	2	24
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	7	0	1	6	4	4	6	1	0	29
ヘルパンギーナ	3	0	0	0	0	5	4	1	4	17
流行性耳下腺炎	1	1	0	1	1	1	0	0	0	5
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3 トピックス

新型コロナウイルス感染症が第37週(9月14日現在)に5例(岩国2例、柳井1例、周南1例、宇部1例)確認されました。【累計5,429例】

4 病原体検出情報

・**新型コロナウイルス感染症**:新型コロナウイルス(検体採取週 第36、37週)が検出されました。
・**日本紅斑熱**:リケッチア ジャポニカ(検体採取週 第33週)が検出されました。